

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

3 - 10

3-10

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	文化財等保存修理
節				
事業(施策)名	10 重要文化財の修理・整備		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～H34		関連団体	県文化行政課
事業概要	<p>【事業目的】 国重要文化財「旧佐渡鉱山採鉱施設」の保存活用計画や調査研究に基づく国重要文化財の修理や整備事業を推進し、構成資産の適切な保全を図る。</p> <p>【事業内容】 文化庁や専門家の指導のもと、長期的な視点に立った修理・整備計画を策定し、構成資産の価値を保護するための適切な修理や整備を行う。</p>			
⑳事業計画と実績	<p>【29年度計画】 本格的な修理工事に必要なデータ採取のためのボーリング調査・解析作業を実施するとともに、専門家や文化庁の指導を得ながら修理方針を検討する。 重要文化財の修理工事に着手する。</p> <p>【29年度実績】 本格的な修理工事は事業未着手であった。(国補助事業の採択が遅れ、今年度事業着手が困難となったため) 本格的な修理事業には着手できなかったが、強風や雨等の気象条件によるき損が生じた高任粗砕場の応急措置を実施し、き損拡大を防止した。</p>			
課題・今後の取組	<p>【課題】 最新の研究成果や他自治体の事例等を常に考慮しながら、修理・整備計画を更新する必要がある。 指定物件が年々劣化・破損している現状から、修理期間が長期化し、予算規模が増加する傾向がある。</p> <p>【今後の取組】 指定物件の劣化・破損状況をもとに修理内容に優先順位をつけるとともに、各年度予算の平準化に努め、持続可能な事業計画となるよう見直しを図る。</p>			
事業評価	<p>【事業の達成度】 (a ・ b ● c)</p> <p>次年度以降に事業着手が延期となったことにより、C評価とした。</p> <p>【事業実施の効果】 (a ・ b ● c)</p> <p>【総合評価】 (A ・ B ● C)</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。

10